

みずほCustomer Desk Report 2022/09/12号(As of 2022/09/09)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	143.82
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	143.87	1.0010	144.04	1.1520	0.6765
SYD-NY High	144.10	1.0114	144.71	1.1646	0.6877
SYD-NY Low	141.51	0.9993	142.71	1.1499	0.6748
NY 5:00 PM	142.65	1.0046	143.30	1.1584	0.6847

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,151.71	377.19	日本2年債	▲0.0800%	0.0000%
NASDAQ	12,112.31	250.18	日本10年債	0.2500%	0.0100%
S&P	4,067.36	61.18	米国2年債	3.5617%	0.0509%
日経平均	28,214.75	149.47	米国5年債	3.4361%	0.0091%
TOPIX	1,965.53	7.91	米国10年債	3.3145%	▲0.0073%
シカゴ日経先物	28,240.00	140.00	独10年債	1.6960%	▲0.0115%
ロンドンFT	7,351.07	89.01	英10年債	3.0940%	▲0.0640%
DAX	13,088.21	183.89	豪10年債	3.5900%	0.0120%
ハンセン指数	19,362.25	507.63	USDJPY 1M Vol	13.40%	▲0.28%
上海総合	3,262.05	26.47	USDJPY 3M Vol	12.48%	▲0.25%
NY金	1,728.60	8.40	USDJPY 6M Vol	11.65%	▲0.31%
WTI	86.79	3.25	USDJPY 1M 25RR	▲0.22%	Yen Call Over
CRB指数	284.12	5.81	EURJPY 3M Vol	12.74%	▲0.14%
ドルインデックス	109.00	▲ 0.70	EURJPY 6M Vol	12.53%	▲0.14%

東京	東京時間のドル円は143.87レベルでオープン。週末を控えた持ち高調整や利益確定売りからドル円は上値重い値動き。午後に入り、岸田首相との会談を終えた黒田日銀総裁が「一日に為替が2円も3円も動くのは急激」との発言を述べたことでドル円は一時142.43まで下落。一巡後に再度143円台に戻す場面も見られたが、結局142.94レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、142.94レベルでオープン。8日のECBの効派姿勢からユーロ主導でドル売りで始まる。ドル円も下落となり、一時141.51まで売られる。しかし同水準が日足一目均衡の転換線であったこともあって反発すると、結局142.55レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は144円ちょうど付近でスタート。週末や来週の米8月CPIの発表を控え、ドルロングの手仕舞いでドル売りが先行し、143円台半ばまで下落。その後、黒田日銀総裁が「一日に2円も3円も動くのは急激な変化だと思う」と述べたことから円のショートカバーもあいまって一時141.51まで下落。売りの一巡後、142円台後半まで急速に買い戻され142.55レベルでNYオープン。主要な米経済指標発表も予定されておらず、週末ムードでドル円は小動き。午後はFOMCのメンバーでもあるウォー氏やジョージ氏が大幅利上げを支持する発言が伝わったほか米短期金利が上昇し、2007年以来の高水準まで上昇するも、ドル買いには繋がらず、米株の堅調推移にも反応薄。結局、142.65レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルはパリティレベル付近でスタート。クワット氏やガジール氏を含む複数のECB理事が利上げに対して積極的な姿勢を示す中、ユーロのショートカバーが進み一時1.0114まで上昇。売りの一巡後、1.00台半ばまで反落し、1.0038レベルでNYオープン。ポジション調整の動きがロンドン時間で一巡してしまっただけか、オープン後は1.0050を挟んだ狭いレンジで推移。米金利上昇・米株の堅調推移も特段材料視されず、午後小動きが続き、結局1.0046レベルでクローズ。

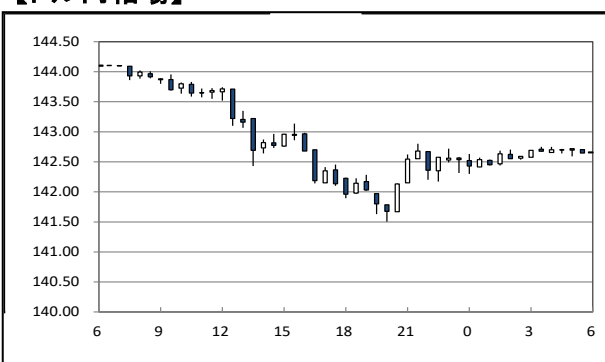
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月9日	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	8月 2.5%/2.3%	2.8%/3.2%
	23:00	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	「次回会合での75bp利上げ可能性十分ある」	
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	7月 0.6%	0.8%
	23:00	米 卸売売上高(前月比)	7月 -1.4%	0.8%
9月10日	01:00	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演	「金融緩和除去は引き続き極めて明確」	
	01:00	米 ウォラーFRB理事総裁 講演	「次回会合での大幅利上げを支持」	

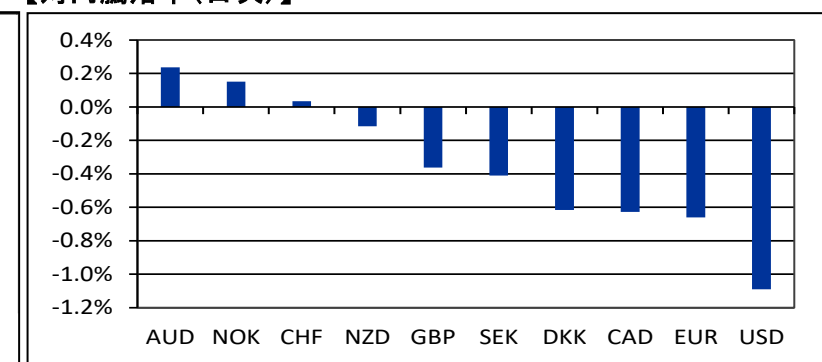
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月12日	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	7月 0.3%/1.9%	-0.9%/2.4%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	7月 0.3%/1.5%	-1.6%/1.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.00-143.50	1.0000-1.0100	143.00-144.50

【マーケットインプレッション】

先週金曜日のドル円相場は下落する展開。143.87レベルでオープンすると週末を前に持ち高調整等もあり上値重く推移。黒田日銀総裁の「一日に為替が2円も3円動くのは急激」との円安牽制発言や米金利の低下に伴うドル売りもありドル円は141.51まで下落。その後、Fedの要人発言で大幅利上げを支持する発言等が見られると米金利の持ち直しとともに142.80まで値を戻すと結局142.65レベルでクローズした。本日のドル円相場は底堅く推移すると予想する。本日は特段の注目される経済指標等はなく、明日の米8月CPIの発表を見据える展開となろう。絶対水準としてのインフレは高止まりしており、米9月FOMCにて75bp利上げが確実視される中、円安推移を基本線としたい。本邦の要人による円安牽制発言等があれば円高に推移する可能性はあるものの、一時的なものと想定したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・木村